

～ Let's ENJOY Buddy Walk to be HAPPY! ～

バディウォーク仙台 in七北田公園 2016



みんな笑顔で
あるいてみよう



障がい
あってもなくても



実施報告書

2016年11月27日

D-Smile TOHOKU



はじめに	2
「ボディウォーク」とは	3
イベント概要	4
タイムスケジュール	5
当日の様子	6
参加者の声	13
メディア採用実績	15
会計のご報告	16
ご協力一覧	17
おわりに	18



○ ダウン症のある人もない人も とともに歩こう楽しもう！

- ・ ダウン症のある人たちも普通に生活していること、
その家族も心豊かに過ごしていることを、東北から伝えよう



「ダウン症」とは？

正式名は「ダウン症候群」で、21番目の染色体が1本多くなっていることから「21トリソミー」とも呼ばれます。ダウン症の特性として、筋肉の緊張度が低く、多くの場合、知的な発達に遅れがありますが、最近ではほとんどの人が普通に学校生活や社会生活を送っています。



- 全米ダウン症協会(NDSS)により1995年10月に「ダウン症啓蒙月間」の一環としてニューヨークで始められた、『ダウン症のある人と一緒に歩く、世界的なチャリティーウォーキングイベント』です。
- 『バディウォーク®』によって世界各国からNDSSに集まった寄付は、2013年には1,220万ドル(約14億円)にのぼり、ダウン症への理解と受容(acceptance)、社会的な平等(inclusion)の促進に使われています。
- 日本では、2012年、東京にて「バディウォーク」が初開催(主催/NPO法人アクセプションズ)。以降、各都市でも、各主催者が企画した「バディウォーク」が催され、その波は、年々全国へと広がっています。

※バディウォーク®はアメリカ合衆国およびその他の国における全米ダウン症協会(National Down Syndrome Society)の登録商標です。



●2016年開催 他都市のバディウォーク関連イベント

日付	開催名	主催者名
4月23日	チャリティーウォーク イン ヨコハマ	ヨコハマプロジェクト
10月23日	バディウォーク@京都☆2016	京都ニンジャムキッズ
10月29日	名古屋城バディウォーク2016	名古屋すまいるマイル
10月30日	福岡よかウォーク	2016 よかウォーク実行委員会
11月6日	Buddy-Walk-Nagasaki 長崎	バンビの会
11月13日	バディウォーク東京 2016 Buddy Walk Tokyo 2016	NPO法人アクセプションズ



- 日 時 / 2016年10月2日（日）10時～11時30分
（～13：00アフターイベント終了）
- 場 所 / 七北田公園（仙台市泉区）
- 参加人数 / 475名（スタッフ、ボランティア含む）
- 参加費 / 無 料
- 内 容 / 七北田公園芝生広場約800mを一周することをメインに、マルシェ、ワークショップ、しゃぼん玉、遊び場コーナー等を設けて、自由に交流しながら過ごす
- 後 援 / 宮城県、仙台市、宮城県教育委員会、仙台市教育委員会、(社福)宮城県社会福祉協議会、(社福)仙台市社会福祉協議会、仙台市発達相談支援センター（アーチル）、全米ダウン症協会、公益財団法人日本ダウン症協会、日本ダウン症協会宮城仙台支部（どんぐりの会）、NPO法人アクセプションズ、一般社団法人 宮城県手をつなぐ育成会、河北新報社、朝日新聞仙台総局、毎日新聞仙台支局、読売新聞東北総局、産経新聞社東北総局、NHK仙台放送局、TBC東北放送、仙台放送、ミヤギテレビ、KHB東日本放送、CAT-V、エフエム仙台、FM 76.2ラジオ3、fmいずみ797、せんだいタウン情報S-style、仙台発・大人の情報誌りらく、仙台っこ、仙台リビング新聞社、まみたん仙台、ままばれ、テニテオ

～ Let's ENJOY Buddy Walk to be HAPPY! ～

パディウォーク仙台2016

10月2日

参加無料

おはようシアターとあそぼう!

ENJOYコーナー & HAPPYマルシェもあるよ!

D-Smile TOHOKU

七北田公園アクセスMAP



- 09:30～ 開場・受付
- 10:00～ ENJOYコーナー開始
HAPPYマルシェ開店
- 10:30～ 記念撮影
ウォーキングスタート
- 11:15～ 閉会イベント
- 11:30～ イベント終了
- 11:30～ アフターイベント
- 13:00 イベント総終了

ENJOYコーナー



おはようシアター

幼児親子がのびのびと参加したり鑑賞をして、楽しむために活動している演劇グループ。保育所や幼稚園、児童館などの施設に、歌や手遊び、ダンスや劇遊びをとり入れた舞台を届けている。



art field khaya
くうか

仙台市青葉区柏木と、泉区のセルバ内アトリエで、こども造形教室を開く。ちぎり絵や粘土、染め物、工作など、子どもが喜ぶプログラム満載！
ダウン症のある子たちのクラスあり(不定期)

アフターイベント

Sachiyo Nayuki Jazz sound



美里町在住。本格ジャズサクソフレイヤー名雪祥代率いるジャズユニット。9/14 にリリースされた、心に効く癒しのアルバム「Comfort」は AmazonJ -ジャズ部門で1位を獲得。自身も1児の母。

「ダウン症クイズ」by黒木聖吾 (アクセプションズ)



世界中のダウン症関連ニュース満載のブログメディア DS21.info 運営。NPO 法人アクセプションズ理事として全国にパディウォーク®が開催されるよう支援活動も行っている。
<http://www.ds21.info/>

2016年の本イベントは、新たに「HAPPY」マルシェを開店し、お買い物も楽しんでもらいました。
メインのウォーキング前には「ENJOY」コーナーとして●おはようシアターとあそぼう●art field khaya (くうか) の工作コーナー●しゃぼん玉●遊び場コーナーを設けました。

また、本イベント終了後、さらに交流を図りたい方のために、ビニールシートを敷いて「交流スペース」をとり、「アフターイベント (ジャズ演奏、ダウン症クイズ)」を実施。マルシェで購入したものや、自宅より持ち込みのお弁当などを囲んで、おしゃべりをしながら、時間まで自由に過ごしてもらいました。

●バディウォーク仙台、初企画のマルシェコーナー。多くの方がお買い物を楽しみました。



あいコープみやぎ
(ガラポン抽選会)



びすた〜りフードマーケット
(軽食・野菜)



工房かやの実
(パン・焼き菓子)



禾食や Kajikiya
(キッシュとタルト)



エフブンノイチ&コッペ
(クッキー・雑貨)



移動雑貨店nicher<ニッチャー>
(雑貨・文具)

●おはようシアター…カラフルな衣装、音楽と歌で楽しませてくれました。



●しゃぼん玉…今年はオリジナルのチェーンを使ったしゃぼん玉マシンも登場して、盛り上がりました！



●遊び場…新聞びりびり、お絵描き、風船づくり、ベテランママの親子相談



●art field khaya (くうか) の工作コーナー…親子で一緒に、マラカスやブレスレットを作りました！





●晴天の芝生広場を一周、約800mを思い思いに歩きました。



●ベビーカーでも抱っこでもオッケー！初めて会ったお友達とも、おしゃべりが弾みます。





●歩き切った最高の笑顔、最高の瞬間です。



●オリジナルのメダルをもらってニッコリポーズ！





- 平塚裕子さんの司会のもと、閉会イベントを開催しました。
- 「バディウォーク2016」の公式ホームページから、一番に参加お申し込みをしたご家族に「お申込み一等賞」。宮城県外からの参加者のご家族には「遠くから来てくれたで賞」。(代表は青森県から参加の方に)。
- また、Facebookにお子さんの写真を投稿してくれたご家族には、「スマイルフォト賞」。(代表は一番に投稿された方に)。
D-Smile TOHOKU代表の石川より、賞状と副賞(壽の三色最中様、株式会社 松倉様よりご提供)を贈呈しました。



●表彰コーナー



お申込み一等賞



遠くから来てくれたで賞



スマイルフォト賞

●アフターイベント その1

<Sachiyo Nayuki Jazz sound>

- 仙台でも活躍するジャズサクソプレーヤー名雪祥代率いるジャズユニットによる演奏。
- 急遽、参加者からのリクエストにも応えたりと、アットホームな時間を過ごしました。



●アフターイベント その2

<「ダウン症クイズ」
by 黒木 聖吾 (アクセプションズ) >

- 「ダウン症の家族がいた文豪は？」など、なるほど！と思わせる知識を、NPO法人アクセプションズ理事・黒木聖吾氏がわかりやすく解説してくださいました。



<イベントを何で知りましたか？>

仙台放送、フリーペーパー、クチコミ、親の会等の会報、チラシ・ポスターを見て、友人の紹介、昨年も参加したので… 等々



●当日アンケート

- ダウン症を知る機会をいただきありがとうございました。
- 小さい子供も大人も両方楽しめて、障害者もすごく楽しそうだったので良い企画だと思います。
- 初めは遠くから見てるだけでしたが、少しずつ声をかけていく中で、どの子も個性は様々だけどこわいいなあと思いました。「何のイベントなんですか？」を聞かれ説明した時「すごいですねえ」と関心をもった若い方がいました。
- 最初は天気が心配でしたが、思った以上に晴れて良かったです！昨年より何倍もパワーアップして、私自身すごく楽しめました！！来年も再来年も参加できる範囲で続けて、このイベントを盛り上げていけたらと思っています。

●後日、メールにて

- 子どもたちの笑顔に元気をもらえました！！
- 参加してる親御さんの多くが、リラックスして楽しそうだったのが、印象に残りました。
- 今回参加できたこと、東北からもダウン症を、ダウン症のある人のことを知ってもらうためにこうして発信していけること、とてもうれしく思っています。
- 昨年以上にいろいろなコーナー、お店も出ていて、「おまつり」という雰囲気良かったです。
- 初参加でバディウォークとはどんなものなの？と疑問がありましたが、参加し親子ともに笑顔に包まれ初秋の公園を歩く楽しいイベントで障がいの有無に限らず楽しめるイベントだと思いました。



- 当事者家族とそれ以外のご家族が同じ数の参加でした。

当事者家族	当事者以外	計
71	71	142

- 参加者のうちダウン症のある方は71名。最年長は母娘で参加の42歳の方でした。

0~2歳	3~6歳	7~11歳	12歳以上	計
17	32	13	9	71

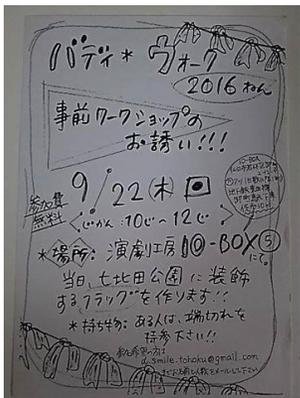
- 東北6県ほかからご参加いただきました。

青森県	秋田県	岩手県	山形県	宮城県	福島県	神奈川県	不明	計
1	1	4	7	122	5	1	1	142

当日参加者のうち、ボランティアとしての参加者は80名。

一般ボランティアのほか、東北福祉大学、東北生活文化大学、東北文化学園大学の学生の皆さんにボランティアにご協力いただきました。

大人 213名 子ども 182名
当日参加者395名（142組）
計475名（スタッフ・ボランティア80人含）



←2016年9月22日
バディウォーク仙台事前ワー
クショップを10-Boxにて開催。
その様子が同日の仙台放送
「みんなのニュース」で放映さ
れました。
はぎれで作成したフラッグ
ガーランドは本番の会場に
飾られました。



約380人の親子が青空の下を歩いた＝仙台市泉区



みんなといっしょにウォーク

ダウン症の子も私たち
いっしょに歩く「バディウ
ォーク」が2日、仙台市泉
区の七北田公園で開催され
た。汗ばむ陽気のなか、県
内外の約380人の親子連
れが800mを歩いた。
バディウォークは東京で
始まり、仙台は昨年に続
いて2回目。企画した石
川真希子さん(42)は「楽し
い時間を過ごすごとで、普
通の子育てといっしょな
んだと感じてほしい」とあ
いさつした。ダウン症の長
男光君(5)らも参加した東
京の大会で、さすががしさを
感じ仲間を集めたとい

ろ。
子どもたちはポランティ
アとハイタッチしたり、噴
水に喜んで。富谷町の小
学6年生、浜口陽菜さん
(12)は昨年は母圭子さん
(47)と一緒に歩いたが、今年
は友だちと歩いて「楽しか
った」。圭子さんは「ダウ
ン症は特別視されがちだ
が、みんなといっしょに暮
らせることを知ってほしい
です」と話した。
(中林加南子)

2016年10月3日↑
朝日新聞宮城県版より

テレビ	仙台放送	2016年9月22日	「みんなのニュース」
新聞	朝日新聞	2016年10月3日	宮城県版
	河北新報	2016年9月28日	朝刊
	朝日新聞	2016年9月28日	宮城県版
	河北新報	2016年9月7日	広域交流版
ラジオ	YBCラジオ	2016年9月30日	「グッとモーニング!!」
	f m いずみ	2016年9月29日	「be A-live」
web	朝日新聞デジタル	2016年10月3日	
	河北新報ONLINE NEWS	2016年9月28日	
雑誌	仙台っこ	2016年8.9月 盛夏号	「街かどニュース」
フリーペーパー	ままぱれ	2016年10月号	「お役立ち生活カレンダー」
	Teniteo	2016年9月号	「News」
	まみたん仙台	2016年9月号	「インフォメーション」
	ちかてつさんぽ	2016年9月号	「インフォメーション」
	げんき倶楽部 杜人	2016年9月号	「イベント情報欄」



- 今回も「バディウォーク仙台」は、誰もが参加しやすいよう参加費無料とし、みなさまからの御寄付、助成金でイベント開催を企画しました。

	項目	金額	備考
収入	寄付金（募金寄付）	73,181	BW16 外募金 （昨年53,935円）
	寄付金（個人・法人寄付）	136,000	BW16 外支援 （昨年172,000円）
	助成金	100,000	
	前期繰越金	59,856	
	合計	369,037	

	項目	金額	備考
支出	16 外消耗品	59,850	缶バッジ・スタッフ備品製作費・16 外備品費等
	会場運営費	81,750	会場備品・運営に伴う諸費用
	通信運搬費	20,997	資料郵送費・封筒代等
	手数料	0	振込手数料等
	印刷製本費	20,291	パンフレット・資料印刷代
	損害保険料	18,000	参加者分の傷害・賠償保険料
	登録商標等使用料	11,376	全米ダウン症協会へ
	スタッフ交通費	15,000	
	謝礼金	85,000	16 外協力者へ
	寄付金	10,000	日本ダウン症協会へ
	次期繰越金	46,773	
	合計	369,037	

差引収支	0円
------	----

● 当日募金箱分
73,181円

※100円以上募金につき、オリジナル
バッジプレゼント

その他、各方面からのご支援を受け、開催前にいただいた32の団体・個人分もあわせて上記の御寄付を頂きました。

また、今回は本イベントに対して「みやぎ生協こ～ぷほっとわ～く助成金」の認定があり100,000円の助成金を頂きました。

● 総額
309,181円

いただいた御寄付の中から開催運営費を差し引いた金額のうち、100ドルを全米ダウン症協会に1万円を日本ダウン症協会に寄付させていただきました。

残りは来年度の開催運営費に使用させていただきます。



ご支援いただいた皆様、本当にありがとうございました



【助成】 みやぎ生協こ〜ぼほっとわ〜く助成金

【協賛】 あいコープみやぎ、味の素株式会社 東北支社、一般社団法人 ヨコハマプロジェクト、株式会社 松倉、さかいたけお赤ちゃんこどもクリニック、日本ダウン症協会宮城仙台支部 どんぐりの会、NPO法人 ほっぴの森びすた〜りフードマーケット、NPO法人 麦の会コッペ、音楽教室ニコタンポ、禾食やKajikiya、学研教室 仙台事務所、なごみサロン TRICK and TREAT、まかない屋、幸縁ノ縁がわ、ラムスタッシュ

【寄付】 石川進一、伊藤いづみ、岩渕陽子、江崎綾子、小野ひとみ、恩田智子、加藤光英、上條信也、近藤寛子、鈴木深恵、武田美法、出町由紀、戸疇奈美子、百武麻紀、古市理代 他匿名でのご支援多数

【協力】 一般社団法人 ぶれいん・ゆに〜くす、株式会社 狩野自動車整備工場、食いしん坊、放課後等デイサービス KEY' S 2nd、株式会社 真恵堂のおおしろ接骨院、株式会社 矢部園茶舗、大野田すぎのこ保育園、仙台市市民活動サポートセンター（仙台に情報の背骨を通すプロジェクト）、泉パークタウンタピオ、raku-en image hair、七北田公園都市緑化ホール、七北田体育館、のびすく仙台、のびすく泉中央、仙台市交通局、宮城県立こども病院、山形県立こども医療療育センター、山形大学付属病院、天童市役所、天童市健康センター、天童市民病院、寒河江市役所、天童市子育て未来館げんキッズ、山形放送、そば処庄司屋 他匿名でのご支援多数

【当日協力】

堺 武男（さかいたけお赤ちゃんこどもクリニック） 黒木 聖吾（アクセプションズ）
 川熊 美貴、上島 奈津子、菅原 祥子、横山 真（おはようシアター） 齋藤 尚美（art field khaya）
 名雪 祥代、三浦 佳明、高橋 翔太、齋藤 弘介（Sachiyo Nayuki Jazz sound）和田 直彦（シャボン玉）
 中川 啓介、橋本 真由美（あいコープみやぎ） 宮阪 純平 他1名（工房かやの実）
 伊藤 敬子、飯沼 美千代、安達 祐輔、小野寺 一寿、山崎 夢子（びすた〜りフードマーケット）
 齋藤 貴博、齋藤 夕香理（禾食や） 日下 由美 他1名（エフブンノイチ&コッペ）
 大内 信雄（ニッチャー） 平塚 裕子（司会） 桂嶋 啓子（カメラマン）
 本儀 拓（音響 キーウィ サウンドワークス） 念佛 明要（イラスト）

（敬称略・順不同）

【ボランティアのみなさん】

鈴木 京子、佐々木 香代子、佐藤 香世子、阿部 由美、増田 真由美、鈴木 ちか子、島田 彩香、小柳 春菜、渡邊 友美子、横橋 美奈子、水野 早貴、廣野 美紀、大久保 潤、宮崎 雅行、千葉 渉平、東海林 藍、佐々木 博美、和田 直彦、菊池 祐子、高橋 絹枝、高橋 美葉、秋山 知道、小森谷 啓輔、田淵 由奇、川口 衿菜、佐藤 奈々、工藤 優希、伊藤 明日美、石川 茜、福田 真彦、小林 翼、中條 彩翠、熊谷 かや、清野 美穂、遠藤 みなみ、河内 健彦、及川 尚吾、阿部 友子、鳴海 仁志、渋谷 香菜子、阿倍 瑠奈、柏倉 亜紀、柏倉 智沙、大石 智子、仲野 一容、石川 順、矢部 亨

(敬称略・順不同)



【おわりに】

ダウン症のある子どもを持つ親達で「D-Smile TOHOKU」は作られました。
(現在ダウン症のあるなしを問わずメンバーを募集しております。)

私たちの願いは2つ。

「ダウン症のある方とそこご家族に楽しんで自信をもってほしい。」

「縁のあった方達とともに楽しく同じ時間を過ごすことで、ダウン症のことを身近に感じてほしい。」

秋晴れの下、総勢475名のバディたちと共に過ごした時間は、「ダウン症のある人もない人もともに歩こう楽しもう! ~ Let 's ENJOY Buddy Walk to be HAPPY! ~」のキャッチコピー通り、ひとりじゃない、こんなにバディがいる、と楽しく心強く感じる幸せな時間だったと感じております。

多くのご協力を賜り、2回目のバディウォーク仙台を無事に開催することができましたことを感謝いたします。来年はバディの輪がまた広がっていきますよう準備を進めてまいります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。本当にありがとうございました。

D-Smile TOHOKU (石川 真希子、小林 みのり、酒井律子、菅原 一枝)



問い合わせ先 D-Smile TOHOKU

HP <http://dstohoku.wix.com/bw2016>

e-mail d.smile.tohoku@gmail.com

FB <https://www.facebook.com/d.smile.tohoku/>

TEL&FAX 022-249-5804 (石川)

寄付も随時募集しております。(振込後はお名前、ご連絡先、お振込み日、金額をお知らせください。)

【お振込先】金融機関名：ゆうちょ銀行 金融機関コード：9900 支店名：ハーハ 支店番号：818

口座番号：普通預金 0775295 名義：D-Smile TOHOKU 名義カナ：ディースマイルトウホク